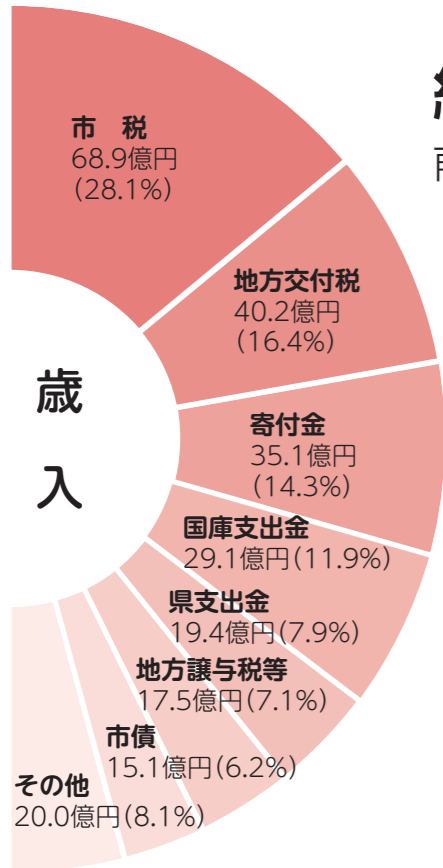


# 令和5年度予算のポイント

令和5年度当初予算額は、一般会計が245億3,000万円、特別・企業会計が227億9,280万円で総額473億2,280万円です。前年度当初予算額に比べて23億4,180万円(5.2%)増加しています。一般会計は、前年度当初に比べて21億3,000万円(9.5%)増加し、過去最大となりました。 問合せ：財政課 ☎ 8710

**総額 245億3,000万円(+9.5%)**  
前年度より21億3,000万円増え、過去最大

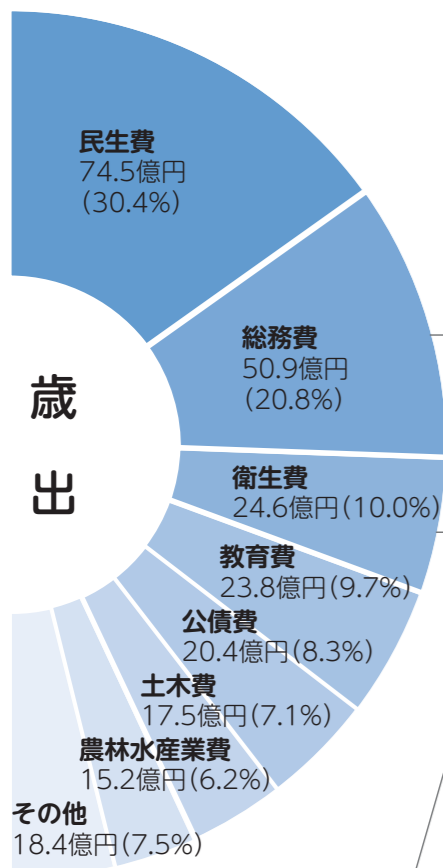


予算とは、新年度が始まる前に、1年間でどのくらいの収入があるのか、どのような行政サービスを行うのかを計画して金額を見積もることを言うんだ。それでは、令和5年度の加西市の予算と主要事業、それぞれのポイントを見ていきましょう。



財政課の鈴木さん

**1 寄付金「ふるさと納税」35億円を見込む**  
令和3年度受入額は約64億円で全国12位



**2 総務費が約8億2,000万円増加**  
ふるさと納税返礼品や市全域にスマートフォン等を活用した、情報伝達システムの整備など

**3 衛生費・商工費(その他) 約4億5,000万円増加**  
脱炭素先行地域づくり、脱炭素化への設備等導入補助など

総額	473億2,280万円 (前年度: 449億8,100万円)	前年度比 (5.2%増)
一般会計	245億3,000万円 (前年度: 224億円)	前年度比 (9.5%増)
特別会計	109億3,623万円 (前年度: 108億8,644万円)	前年度比 (0.5%増)
企業会計	118億5,657万円 (前年度: 116億9,456万円)	前年度比 (1.4%増)



## 全国に誇る子育て応援と いつまでも住み続けたいまちへ

2月24日の市議会3月定例会において、西村市長が新年度の基本方針を示す「施政方針」を示しました。「子育て応援」を基本方針の軸におき、さらに加西インター産業団地の推進、脱炭素など、未来を見据えたまちづくりを目指します。ここでは、本年度の施政方針の概要を紹介します。

### 西村市長が施政方針

## 加西市をさらなる高みへ

### まちづくり 3つの都市核中心に

加西インター産業団地につきましては、11社が進出を予定しており、これら事業所が稼働し、さらに産業団地近隣に、店舗等の民間事業者が進出することで、一つのまちを形成し、一帯は大きく変わると思われます。

また、泉地域の加西インター産業団地周辺地区を、九会北部地区同様、副都市核と位置づけ、都市核の北条市街地とともに都市機能の強化を図り、この3つの都市核を中心としたまちづくりを推進し、活性化と人口増につなげていきます。

### ひとづくり 次世代型人材の育成

子育て5つの無料化により、出産から乳幼児期を経て高校卒業まで、子どもたちの成長に合わせた支援施策をシームレスに提供します。また、引き続き「加西STEAM」を推進し、多様な他者との「協働」により正解のない問題に「挑戦」し、新しい価値を創

造「できるような人材の育成を目指す」とともに、いじめ・不登校対策として、どのような状況にあっても教育のサポートを受けられる環境を整えます。

### まちづくり 持続可能なまちへ

ものづくりのまちである加西市には、高い技術力や独自のノウハウを有する企業が多くあり、ものづくり産業は市内経済や雇用をけん引する重要な産業となっています。

加西市を更なる高みへと発展させ、未来に向かって持続可能なまちづくりを実現するために、SDGs 未来都市、デジタル田園都市、脱炭素先行地域の取り組みを展開させる必要があります。

市民と行政が思いを一つにして、より一層結束を強め、加西市の英知を集結していかなければなりません。そのために、市民の皆さまが安全に安心して暮らせる持続可能なまちづくりの実現に向けて全力で取り組んでまいります。